

ミスミグループ本社 2023年3月期 第3四半期 連結業績 ～グローバルで景気後退に伴い、設備投資需要が弱含むも為替効果で増収～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2023年3月期 第3四半期累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減率
売上高	274,155	281,995	+2.9%
営業利益	41,898	38,306	▲8.6%
純利益	29,903	28,641	▲4.2%
1株当たり純利益	105.23円	100.71円	

1. 2023年3月期第3四半期累計期間の連結業績ハイライト

- 当第3四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染による影響が継続している中、グローバルで景気後退の傾向が強まり、自動化関連の設備投資に慎重さが見られました。中国では期初のロックダウンやその後の感染急拡大などにより、需要低迷の状況が続きました。中国を除く海外地域でも景気減速やインフレなどの影響を受け、需要が次第に減速しました。一方、日本においては期の後半から自動車関連を中心に持ち直しの兆しが見えはじめたものの、本格的な需要回復には至りませんでした。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、顧客の需要を的確に捉えることに尽力しましたが、中国や日本を中心にグローバルで設備投資需要が低迷した影響を強く受けました。
- この結果、需要減速の影響を受けましたが、為替効果もあったため、連結売上高は281,995百万円、前年同期比2.9%増(現地通貨ベース4.2%減)となりました。利益面につきましては、売上数量減および新基幹システム導入に関わる費用の増加により、営業利益は38,306百万円(前年同期比8.6%減)、経常利益は39,208百万円(前年同期比6.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は28,641百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

2. 第3四半期より需要が弱含み、全事業減速するも為替効果で増収

- 2023年3月期第3四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	88,962	91,788	+3.2%	▲3.7%
金型部品事業	56,224	59,936	+6.6%	▲4.6%
VONA事業	128,969	130,270	+1.0%	▲4.3%
合計	274,155	281,995	+2.9%	▲4.2%

- FA事業は、中国や日本において需要が低調に推移したものの、他地域では成長が継続しました。
- 金型部品事業は、グローバルで自動車関連の設備投資や工場稼働の低下により総じて弱く推移しました。
- VONA事業は、中国や日本を中心に工場稼働の低下および上期まで続いた販売中止などの影響に加え、一部商品の供給困難も本格的に解消されませんでした。

3. 中国コロナ政策の転換等の影響により、中・日は回復遅れ、その他地域も減速感鮮明

- 2023年3月期第3四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	131,442	128,501	▲2.2%	—
海外	142,712	153,494	+7.6%	▲6.0%
中国	56,938	54,652	▲4.0%	▲16.0%
アジア	40,411	43,037	+6.5%	▲4.4%
アメリカ	24,711	32,013	+29.5%	+6.4%
ヨーロッパ	15,410	17,363	+12.7%	+4.8%
その他	5,240	6,426	+22.6%	+0.3%

- 日本では期の後半から自動車関連を中心に持ち直しの兆しが見えはじめたものの、本格的な需要回復に至らず、前年同期比2.2%の減収となりました。
- 海外において、中国はコロナ政策の転換等の影響により回復が遅れたことに加え、その他地域も減速感が鮮明となりましたが、為替効果により前年同期比7.6%の増収となりました。

4. 2023年3月期連結業績予想および期末配当予想を下方修正

(1)2023年3月期 連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	403,500	57,300	57,600	42,000	147.72
今回予想(B)	377,000	49,000	50,000	36,500	128.30
増減(B-A)	▲26,500	▲8,300	▲7,600	▲5,500	
増減率(%)	▲6.6%	▲14.5%	▲13.2%	▲13.1%	
前期実績	366,160	52,210	52,500	37,557	132.15

注)通期業績予想の平均為替レートにつきましては、足元の為替状況を考慮し、前回10/27公表時に想定したレートからそれぞれ、1ドル=136.9円を134.5円に、1ユーロ=139.8円を140.2円に、1元=19.9円を19.6円に見直しました。

第3四半期連結累計期間においては、グローバルで景気後退の傾向が強まり、自動化関連の設備投資に慎重さが見られたため、業績の進捗および直近の需要動向を勘案した上で、通期連結業績予想を上記のとおり下方修正いたします。

なお、今後業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

(2)2023年3月期 期末配当予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		19円14銭	36円94銭
配当性向		25.0%	25.0%
今回修正予想		14円29銭	32円09銭
配当性向		25.0%	25.0%
当期実績	17円80銭		
前期実績	18円33銭	14円71銭	33円04銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。

配当に関しては、配当性向25%を基準としていることから、上記のとおり2023年3月期連結業績予想の修正により、期末配当予想を1株当たり14円29銭(前年比42銭減)に修正し、年間配当予想は32円09銭となる見込みです。

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2023年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2023年3月期第3四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム
Tel: 03-5805-7037 Fax: 03-5805-7014
mail: cc@misumi.co.jp